

おねえちゃんとの百てんのまい日

みなみ ゆずき

わたしには、二つとし上の大すきなおねえちゃんがあります。わたしのおねえちゃんは、生まれてすぐにあかちゃんきゅうきゅう車ではこばれました。おかあさんはますいをしていたので、おねえちゃんがどうやって生まれたのか、わかりません。だから、わたしが生まれたとき、はじめて生まれたばかりのあかちゃんを見たそうです。

おねえちゃんは、生まれたときにNICU というところに入いんしていました。じぶんでいきができなくて、たすからないかもしれないとおいしやさんにいわれました。おとうさんも、おじいちゃんも、おばあちゃんも、みんななきました。おかあさんがショックをうけるから、みんなではなしあつてないしよにしました。

六月十日は、おかあさんがおねえちゃんにはじめてあった日です。生まれて五日目に、かんごしさんとタクシーにのってびょういんにあいにいったそうです。そのときのビデオを見ました。おねえちゃんのまわりにたくさんきかいがあつて、なん本もくだがつながっていました。おかあさんがこえをかけると、おねえちゃんをはじめて目をあけました。とつてもかわいいあかちやんでした。

わたしは、げん気なおねえちゃんしかしりません。でも、みんながたすけてくれたしょうごがあります。おかあさんのおへその下の百ミリのきずあとです。わたしとおねえちゃんが、生まれてきたところ。

おねえちゃんがいて、いもうとのわたしもしあわせです。おねえちゃんとの、百てんのまい日をつくってくれてありがとう。たすけてくれてありがとう。